

妊婦健診 公費負担

2回→5回へ



徳増きよ子

日本共産党流山市議員

安心して産み育てられる流山へ
一緒に声を広げましょう



妊婦健診への公費負担拡大など517項目の来年度予算要望を市長に手渡しました。右から2番目が徳増市議。

拡充求め 全国で運動

妊婦の救急搬送で、悲劇が相次いでいます。この背景には、産科医が足りないこと、妊婦健診の多額の自己負担があります。

全国各地で運動や世論が広がり、厚労省も全国調査を実施。「公費負担は5回実施が妥当」との見解を示しました。国民が国を動かした貴重な成果です。

市内では、市民団体が4月の市長・市議選で、候補者への公開アンケートを実施。12月議会に、婦人団体が公費負担拡充を求める陳情を提出しています。

12月市議会 一般質問

『新年度から5回へ拡大し、
支援したい』と回答

11月29日から始まった12月市議会、新年度から妊婦健診への公費負担を2回から5回へ「拡充する」と健康福祉部長が答弁し、その経費として、約5千万円（H18年度実績1870万円（公費負担2回））を、来年度予算に盛り込む方向です。宮田議員（流政会）の質問に答えたものです。

流山民報（号外）

発行：日本共産党流山市議団
連絡先：7157-6140